

報道関係各位

自治体と市民が連携して地域課題への対策を考えるコンテスト
「チャレンジ！！オープンガバナンス 2019」
京都薬科大学の学生参画チームが全国1位を獲得
—薬局の積極活用を促進するサービス“Pharmatching（ファーマッチング）”を提案—

全国の各自治体が提示する地域課題と関連データに対して市民がアイデアをまとめるプロセスと成果が審査・評価されるコンテスト「チャレンジ！！オープンガバナンス 2019」の最終審査が2020年3月8日（日）に開催され、京都薬科大学の学生が参画するチームが全国1位を獲得しました。

「チャレンジ！！オープンガバナンス」（以下、COG）は、東京大学公共政策大学院「情報通信技術と行政」研究プログラム（PadIT）が主催するコンテストで、2016年度から開始され、今回が4回目となります。今年度は、全国41都市の自治体から、市民と一緒に考えたい地域課題（51課題）と関連データや情報が提示され、それに対し、56の市民チームが各自自治体と連携して地域の課題解決に向けたアイデアをまとめて提出。そのうち12チームが最終審査に進出しました。

本学の学生が参画したチームは、学生の他に、医師、薬剤師、IT企業社員等で構成されており、京都市が提示した「市民による薬局・薬剤師等の活用推進（健康サポート薬局の普及）」という地域課題解決につながる取り組みを検討。ICTの活用により、市民が薬局・薬剤師と繋がりあうことができ、対面はもちろん、オンラインでも気軽に相談ができる地域社会を目指す新サービス“Pharmatching（ファーマッチング）”を提案しました。3月8日（日）のオンライン公開プレゼンテーションによる最終審査の結果、爆発的な連鎖力を持ち全国的な展開も期待できるアイデアが高く評価され、第1位を獲得しました。

COG2019の概要と、第1位を獲得したアイデアの詳細は以下の通りです。

「チャレンジ！！オープンガバナンス 2019」概要

- ①自治体が市民と一緒に考えたい地域課題と関連データ・情報・資料（以下「公開データ」という。）を併せて提示（2019年6月～8月）
- ②各自自治体の市民は、公開データを活用し、提示された地域課題の解決に向けたアイデアをまとめて提出（2019年9月～12月）
- ③提出されたアイデア（56件）の内容と、検討過程で市民と自治体がどれだけ連携して取り組んだかが審査（2020年1月～2月）され、1次審査を通過した12件のアイデアの中から、東京大学で開かれる最終公開審査（同年3月8日）※で上位4チームを決定。
- ④最終公開審査の取組には、今後、審査委員会の改善アドバイス（2020年4月予定）やフォローアップがある。

※今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、公開審査は中止、オンラインイベントによる最終審査が行われました。

本学学生が参画したチームのアイデア概要

【チーム名】「Pharmatching (ファーマッチング) しておくれやす☆」

【アイデア】「ICT の活用により市民と薬局・薬剤師と繋がり合う事ができ、身近に相談できる地域社会を実現する新サービス “Pharmatching (ファーマッチング)”」

【チームメンバー】京都薬科大学 2・3 年次生 (森田 貴子、横田 如奈、相馬 夏月、岡本 未奈子)、ゆう薬局薬剤師、ウイングアーク 1st 株式会社 (IT 企業) 社員、株式会社プラメドプラス代表取締役の内科医、京都市総合企画局総合政策室市民協働推進担当職員で構成される 12 人

【課題】市民による薬局・薬剤師等の活用推進 (健康サポート薬局の普及) (保健福祉局医療衛生推進室医務衛生課) に対する解決アイデア



【概要】少子高齢化の進行により、国民医療費の増大・持続可能な社会保障制度の維持が問題となっている。ファーストアクセスの相談窓口として“かかりつけ薬局・薬剤師”の機能を強化し、未病・予防も含めた生活支援を行うことで、地域包括ケアにおける連携体制構築や住民 QOL (=生活の質 Quality of Life) の向上、健康寿命の延伸に繋がると考えられる。ICT を活用したプラットフォームサービスの提供により、“かかりつけの薬局・薬剤師を選びやすい” “薬剤師と相談しやすい” 社会を実現し、地域住民の安心と健康に寄与することを目指す。

薬局	くえ薬局	
薬剤師名	仲村佳和子	
年齢	38	
勤務終了予定	19時まで	
電話番号	075-352-614	
専門資格	XXXXXXXX	
対応症状	腹痛	

(機能 1) ウイングアーク 1st 社が提供する Motion Board クラウドサービスを活用した位置情報付き Web サービスにより薬局機能情報を提供、地域における薬局機能・所属薬剤師の取得資格や得意分野などを可視化する。

(機能 2) メッセンジャーアプリ (主として LINE) を活用した薬剤師との個別相談対応機能をプラットフォームに組み込む。

(機能 3) ダイエットや身体作り、血圧・血糖値などのコントロール (生活習慣病予防) など中期的な健康サポートに関わる内容について薬剤師から継続的なコーチング的助言を受けることも可能。



[報道に関するお問い合わせ先]

京都薬科大学 事務局 企画・広報課

担当:川勝、谷垣

〒607-8414 京都市山科区御陵中内町5

TEL:075-595-4691 FAX:075-595-4750

E-mail:kikaku@mb.kyoto-phu.ac.jp